

漆原正一 学位論文審査要旨

主 査 岡 田 太
副主査 藤 原 義 之
同 汐 田 剛 史

主論文

WNT/ β -catenin signaling inhibitor IC-2 suppresses sphere formation and sensitizes colorectal cancer cells to 5-fluorouracil

(WNT/ β -カテニン経路抑制性化合物IC-2はスフェア形成を抑制し、大腸癌細胞の5-フルオロウラシルへの感受性を増強する)

(著者：漆原正一、坪田智明、朝井良磨、安積遵哉、蘆田啓吾、藤原義之、汐田剛史)

平成29年 Anticancer Research 37巻 4085頁～4091頁

参考論文

1. Inflammation-based prognostic scores and nutritional prognostic index in patients with locally-advanced unresectable colorectal cancer

(局所進行切除不能大腸癌患者における炎症に基づく予後スコアと栄養学的予後指標)

(著者：池口正英、漆原正一、下田竜吾、山本学、前田佳彦、蘆田啓吾)

平成26年 World Journal of Surgical Oncology DOI:10.1186/1477-7819-12-210

2. Surgical treatment of retroperitoneal liposarcoma

(後腹膜脂肪肉腫の外科的治療)

(著者：池口正英、漆原正一、下田竜吾、齊藤博昭、若月俊郎)

平成26年 Yonago Acta medica 57巻 129頁～132頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、新規に合成した低分子化合物IC-2を用いて、大腸癌細胞株DLD-1の癌幹細胞に対する効果を検討したものである。その結果、IC-2により、WNT/ β カテニン経路の抑制、スフェア形成の抑制、5-FUとの併用による抗腫瘍効果の増強効果を認めた。本論文の内容は、癌幹細胞を標的とする治療法の有効性を示すものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。